

1 化政文化

- (1) 11代将軍・徳川家斉の頃に栄えた、町人中心の文化を(**化政文化**)と言う。
- (2) (**十返舎一九**)は、「東海道中膝栗毛」などの滑稽本で人気を得た。
- (3) 俳諧分野では、(**小林一茶**)が「おらが春」などの句集を残した。
- (4) (**葛飾北斎**)は、「富嶽三十六景」などの浮世絵で人気を得た。
- (5) 各地に(**寺子屋**)が作られ、読み・書き・そろばんが教えられていた。

<ワンポイント解説>

- ... 文化・文政年間に当たるため、このように呼ばれる。
- ... 文学では、滝沢馬琴の「南総里見八犬伝」なども有名。
- ... 写実的な作風で知られる与謝蕪村も有名。
- ... 有名な浮世絵師には、「東海道五十三次」の安藤広重などがいる。
- ... 寺子屋教育の結果、明治初期の日本の識字率は世界最高水準にあったと言われる。



【アプリ版のご紹介】中学社会 地理・歴史・公民

中学社会(地理・歴史・公民)の重要基本事項を完全収録。中学の定期テストや高校入試の勉強に、また、高校生やセンター試験対策の基礎固めにオススメのアプリです。



【オマケの一題】

古文・漢文

「はかなし」の意味は？

(A) 緑の (B) 気むずかしい (C) 気力にあふれた (D) つまらない